

# 科・ぼ・せ・ん News Letter

2023.2.14 発行

<https://ridai-svc.org/>



## 「コーディネーターいちねんせい」

科学ボランティアセンター  
コーディネーター 岡崎 則武



リセンです。

この春に 36 年勤めた高校教員を早期退職して科ボラに join しました。この全国でも例を見ない科ボラの科目やさまざまな活動は、緩みきっていた脳みそに超刺激を与えてくれ、何かにつけてアイデアが湧き上がり、やりたいことだらけ、夢だらけ、実に充実感に満ちた 1 年目となりました。

このリニューアルした NewsLetter、プログラミングチーム（レゴ・ドローン）、OBOG 会発足、「たのセンおかやま」発足、IT パスポート講習会…など、新しい仕組みやイベントで常に脳がフル回転しています。

それも、高原先生はじめ他の個性豊かなコーディネーターの先生方が面白がって手助けしてくださったこと、そして学生スタッフ会のみなさんが乗ってくれたおかげです。

物事をポジティブに捉えるようになると、運と周りが味方してくれるようになる。それがもうすぐ還暦を迎える私の実感です。今年もワクワクすることが絶対やって来る!

## 科学ボランティア リーダー認定!

2022 年度の「科学ボランティアリーダー認定」で 5 名が認定予定となりました。

科学ボランティアリーダー認定制度は、「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導 1」「同 2」「科学ボランティア活動 1」の必修科目（計 5 単位）と、「科学ボランティア教材研究」「科学ボランティア活動 2」の選択科目（1 単位以上）の合計 6 単位以上履修することで認定されます。

### 【科学ボランティアリーダー資格認定証授与対象者】

- 理学部基礎理学科 K さん
- 理学部基礎理学科 S さん
- 理学部基礎理学科 Y さん
- 理学部動物学科 K さん
- 教育学部中等教育学科 M さん

おめでとうございます！これからのご活躍をお祈りいたします！！

なお、1/28 には「科学ボランティア活動 1」の成果発表会があり、7 名が無事終了となりました。

右は発表会の様子です。

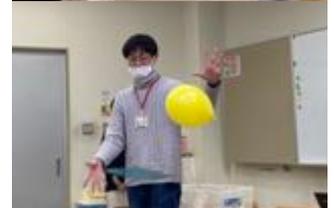
3年 S さん  
電気を作る



3年 O さん  
天気のおしぎ



3年 K さん  
落ちマスター



3年 Y さん  
静電気実験



2年 N さん  
音と振動のおしぎ



2年 Y さん  
地震による災害



2年 F さん  
とんころりん



# 「科学ボランティア教材研究」発表会！

1/28（土）、選択科目の「科学ボランティア教材研究」の発表会が行われました。

今期は受講生の約半数が中国人留学生ということで、言葉が通じかねど不安を抱えてのスタートでしたが、これまでになかった視点からの研究もあり、たいへん素晴らしい発表が盛りだくさんでした。例えば日本では「毛細管現象」といいますが、中国では「毛細現象」といって教科書にも詳しく載っており、わかりやすい実験を提示してくれるなど、目からウロコでした。

そのほかには、マグヌスコップを上手に飛ばすための様々な方法の追求や、偶然のことから一般にはかなり時間のかかる「金属樹」の形成が非常にスピードアップできるという発見があったことなど、外部に向けて発信したら良いレベルの研究が目白押しでした。

1班 ミニベロの謎



2班 毛細管現象



3班 浮かぶ小さな紙コップ



4班 水が出る時出ないとき・ふしぎな花瓶



5班 マグヌスコップ



6班 金属樹



7班 超高速連続爆発!!



## ::: 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 :::



### さつきー

建設会社勤務

岡山理科大学 工学部 建築学科

(2021年卒業)

科ボラ在籍2017-2019

#### \*\* 近況・仕事内容 \*\*

入社2年目で大学の頃と同じく実家暮らしです。建設会社で工事現場の施工管理という仕事をしています。当時の私を知る人は驚くと思いますが、1時間半ほどの車通勤をしています。半年ペースで現場が変わるのですが、建物の造りが変わると新しく覚えることも増えます。2年目とはいえ、分からない事だらけでまだまだ勉強中です。日々業者の方や先輩方に教えてもらいながら頑張っています。

#### \*\* 科ボラの思い出 \*\*

初めてのサイピアはとても印象に残っています。私が科ボラに入るきっかけでもありません。初のブースは水中シャボン玉でした。最初は必死で説明も上手くいかなかったのを覚えています。顔に「はてな？」が浮かんでいる子、途中で帰っちゃう子もいました。焦っていた私は顔が怖かったかもしれません（笑）

そんな中で**笑顔の子どもたちに囲まれ**

**て楽しそうにブースをしている先輩方**は**とてもかっこよくて、キラキラして見えました**。自分もこんな風になりたい！と思い、科ボラに入ることを決めました。いざ入ってみると、**頼れる先輩、優しい先生、面白い同期、元気な後輩、皆素敵な方々ばかりで気づいたら毎日通っていました**。

#### \*\* 役に立っていること \*\*

仕事柄、人に説明をすることが多いです。建具の納まりや完成のイメージ等を業者やお客様に伝えなければなりません。**どうやったら分かりやすいか説明の順序を考えたり、図面に書いて見て分かるようにしてみたり、間違いなく伝わるように特に気を付けています**。

このような説明の仕方などは、科ボラで身に付いたものだなと感じます。ブースやショーの際に話し方を工夫したり、絵をかいたり、分かりやすく伝えるように心がけていたことで、今になっても自然と伝え方を工夫して話すようになりました。

#### \*\* 後輩へのメッセージ \*\*

私は科ボラを通して、科学の楽しさを伝えたいなと思いながら活動していました。

**人に楽しんでもらうには、まず自分のやっているブースやショーのネタの楽しさや面白さのポイントを見つけると良いかもしれません**。どこがおもしろいのか、いつとも違うのはどこか、どうしてそうなるのか。

毎日練習で反応等を見ていると何度も見すぎて面白さが分からなくなったり、飽きてきたりすることもあると思います。そんな時は初めて見た時を思い出したり、仲間に見てもらったりして、楽しさ面白さを再確認して下さい。**楽しさは見ている人にも伝染しますから、自分自身が楽しむことを大切に、科ボラを楽しんでください！**

[写真は学生時代👉]



## 学生スタッフ会メンバー紹介



[サイピア担当] なかちー

理学部生物化学科 2年生  
(広島県出身)



### \*\*科ボラに入ったキッカケ\*\*

僕が岡山理科大学に入る時に将来的に目指していたものは、理科の教員でした。ですが、僕は教育学部ではないので、教員になるための経験をどこで積もうか悩んでいました。そんな時、見つけたのが科学ボランティアでした。**岡山理科大学の掲示が貼ってある場所に「教員を目指すなら経験を積める科ボラがおすすめ」と紹介されていました。**そこで興味を持った僕は科学ボランティアについて知るために「科学・工作ボランティア入門」という講義に参加しました。そこで科学ボランティアは基本的に子どもたちに科学の楽しさを教える活動をしていることなど、大まかな説明を受け、楽しそうだと感じたので科学ボランティアスタッフ会に所属することにしました。これが、僕の科学ボランティアに入った経緯です。

### \*\*科ボラでの活動\*\*

以降、僕は科学ボランティアで月に一回はボランティアに参加しています。1番参加しているボランティアは「人と科学の未来館サイピア」という場所で行うボランティアです。そのイベントには近所の子どもやその親御さんが参加し、僕らはその子供たちに対して、科学ショーをしたり、実験ブースを出したりしています。

僕も科学ショーをしたことがあります。内容は音と振動を扱った科学ショーです。その時も多くの子どもたちがいたので緊張しましたが、無事成功させることができました。**この科学ショーでは、僕自身が内容や流れを考え、それを先輩に確認してもらう形で完成させました。この科学ショーによって、学校の授業の内容の考え方が少しわかったと思います。**それを手始めに、サイピア以外の場所で、空気や液体窒素など他の内容のショーの経験を得ることもできました。

**このような経験を得られる場所はなかなかない**と思います。僕は科学ボランティアに出会えて良かったです。まだまだボランティアに参加する機会があるので、色々なボランティアに参加してより多くの経験を得たいと思います。

11月の地元福山でのイベントでのショー



### 科ボセンにある使える備品

科学ボランティアセンターが所有する、楽しい、使える道具や機器たちを紹介します。

#### Vol.1 《透明アクリルの筒》

ただのアクリルの筒(内径220mm、外径230mm、長さ1020mm)です。液体窒素につけたプラスチックのボールを筒の中



で落としたり、ボーリングの球を掃除機を使って浮かす大気圧の実験などいろいろな使い道があります。もちろんボーリングの球もセットでお貸します。

#### Vol.2 《静電気ベル》

ウールなどでこすって帯電させた塩ビ管を近づけると、素敵な音が鳴ります。



中世のヨーロッパの教会では、この装置を使って雷の接近を知らせたという話もあります。以前は写真①のような



写真②

理もわかる組み立て式のものが多かったのですが、最近②のようなコンパクトで素敵な音色のものが入りました。もちろん空き缶と画鋲とテグスで、手作りすることも可能です。塩ビ管も多数そろっています。

(コーディネーター 糸山嘉彦)